

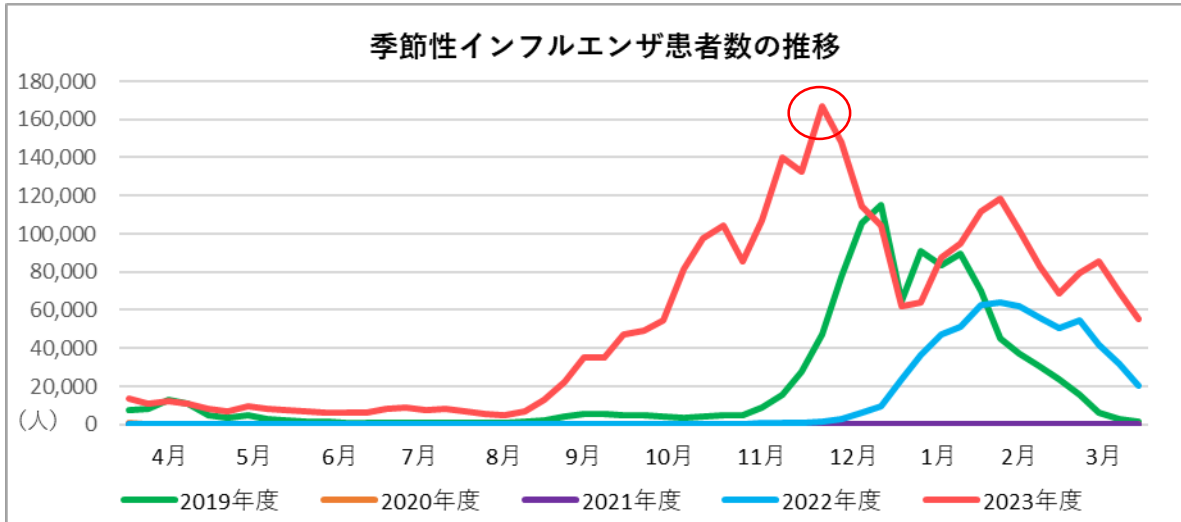


インフルエンザ予防はお早めに

今年も季節性インフルエンザの予防接種が推奨される時期になりました。流行に備えるための感染症対策についてお伝えします。

■ 昨年度のインフルエンザ流行について

2023年度は、過去5年間で最もインフルエンザ患者数の多い1年となりました。インフルエンザは例年12～3月ごろ流行しますが、2023年度は例年よりも早い時期から患者数が増加しています。



※ 2020年度、2021年度は新型コロナウイルス蔓延による外出控えが影響し、インフルエンザ患者数が激減しました。

【出典：季節性インフルエンザの患者報告数（感染症発生動向調査（定点報告）） 厚生労働省】

■ インフルエンザ予防接種の補助をしています

予防接種には、感染後に発症する可能性を減らし、発症した場合に重症化を予防する効果があります。

予防接種の効果は接種から2週間で現れ、4～5カ月持続するとされています。10月～12月を目安に予防接種を受けましょう。

当国保組合では、インフルエンザ予防接種を受けた際に、年度内（4月～翌年3月）1人上限6,000円までの実費を補助しています。詳しくはこちらをご確認ください。



■ 日常生活における感染症予防

今年もインフルエンザが大きく流行する可能性がある他、新型コロナウイルスとの同時流行も懸念されています。

予防接種に加え、手洗い・うがい、十分な睡眠、栄養バランスのとれた食事、適切な湿度管理（50～60%）などを心がけましょう。



【引用・参考】

- 1) インフルエンザに関する報道発表資料 厚生労働省